

## 2 日本の「文化力」をより一層向上させるための 国との連携及び支援の充実

(文化庁, 国土交通省)

京都は、伝統、文化、ものづくり、自然、学術、宗教、おもてなしを体現する、日本の精神文化の拠点都市です。文化庁の京都への全面的移転を踏まえ、京都文化芸術プログラム2020に掲げる施策を強力に推進し、全国を牽引する役割を担うことで、日本の「文化力」の更なる向上と、世界への発信に貢献するため、次のとおり求めます。

### 提案・要望事項

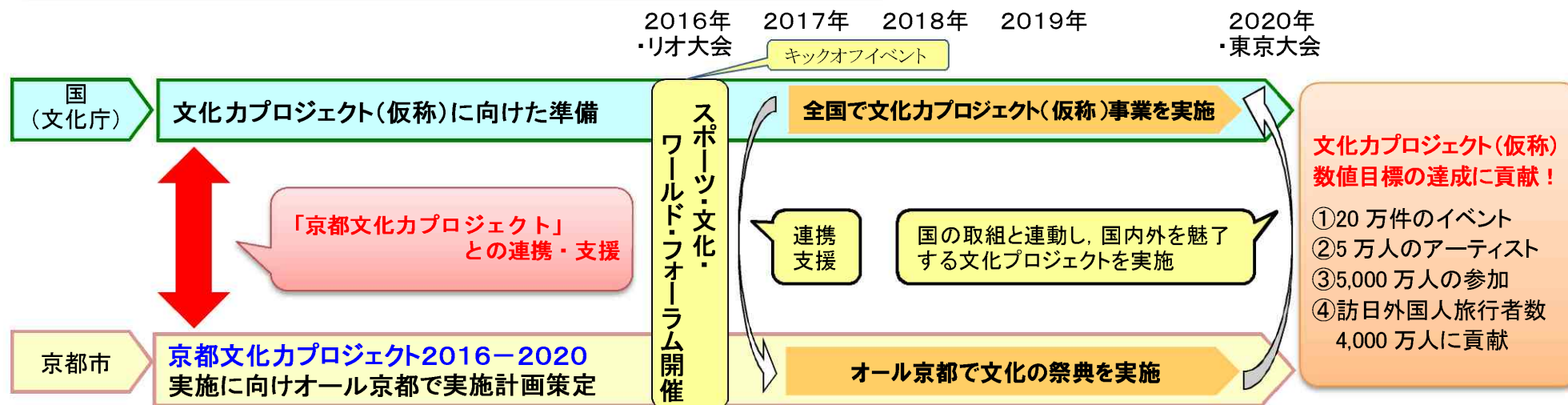
市・府共同提案 ((1), (3))

- (1) オール京都で開催する「京都文化力プロジェクト2016-2020」の実施に向けた連携・支援
- (2) 東アジア文化都市2017開催への財政支援等
- (3) 古典の日の11月1日に京都で開催する「古典フォーラム2016」への主催参画, 及び古典に関する教育環境整備
- (4) 世界遺産・二条城が文化財の積極的活用のモデルとなるための取組や, その価値を次代へ継承するための本格修理事業への支援
- (5) 京都市美術館再整備事業への財政支援
- (6) 伝統芸能を創造普及するための「国立京都伝統芸能文化センター(仮称)」, 及び日本の歴史・文化を創造的に理解でき, 日本の文化力を世界に発信する「国立京都歴史博物館(仮称)」の創設

## 京都文化芸術プログラム2020の推進による「文化芸術立国」の実現

東京オリンピック・パラリンピック等の開催決定を契機に、今後、2020年に向け、強力に推進すべき事業を取りまとめた「京都文化芸術プログラム2020」を策定(平成27年2月)。京都への文化庁移転の決定を機に、更に文化芸術と産業、教育、地域、福祉、まちづくり等のあらゆる分野と融合した多彩な取組を展開することにより、京都が「文化芸術立国」の実現に向けて、その中核を担う。

### 京都文化カプロジェクト2016-2020実施に向けた連携・支援



### 東アジア文化都市2017の開催に向けた支援

2016年

- ・実行委員会の発足
- ・同時開催都市との事業内容の調整
- ・プレ事業の開催

2017年

- ・「東アジア文化都市」オープニング・クロージング事業の開催
- ・コア期間事業の実施
- ・京都の魅力発信事業や日中韓文化交流事業の実施

文化芸術事業や、日・中・韓 3箇国の文化都市の交流事業など、充実した事業の実施には、**国の財政支援**や、**開催都市との連携**が必要!